

Contents

- 「図書館 私の使い方」 池澤 侑美 …… ①
表紙に掲げられた資料の解説 …… ②
学生時代と図書館52
モスクワ留学と図書館 武藤 研介 …… ③
「世界をみつめて『三国志』余滴2
—司馬仲達と日露戦争—」 福原 啓郎 …… ④
「中国図書館探訪記—国家図書館編—」
竹内 誠 …… ⑤
オフィス・インフォメーション …… ⑥
寄贈図書案内 …… ⑦
本学図書館のスペシャル・コレクションより(3)
ニッポナリアと対外交渉史料の魅力
「新井白石 シドッティを尋問し大いに見地を広げる」
奥 正敬 …… ⑧
書店関係者をお願いするページ
「貴重な書物は永遠の輝き」 小林 士郎 …… ⑩
人—私も京都外大図書館を応援します(1)
「家族はみんな国際派」 中谷 進次郎 …… ⑪
ライブラリースケッチ「リターンポスト」
本嶋 瑠美 …… ⑫
おこしやす、図書館へ
「図書館の資料アレコレ」 藤井 達也 …… ⑫
7～9月のピックアップコーナー
「城を巡る!」 栄 咲子 …… ⑬
インターミッション(17)
「ひと目でわかるPowerPoint Version 2002」
宮杉 浩 …… ⑬
スペイン語圏を知る本(その35)
「川口 剛 著『スペインのBARがわかる本』」
評者 坂東 省次 …… ⑭
中国のほんの話(29)
「さようなら陳真さん」 蔭山 達弥 …… ⑮
本学のスペシャルコレクション(21) …… ⑮
ご存じですか?
「Kenkyusha Online Dictionary」
宮杉 浩 …… ⑮
「図書館のこんなこと知らなかった⑧」
松本 隆弘 …… ⑰
「ドイツ文学わき道散歩(13)」
小林 ゆかり …… ⑰
マガジンラック(26)
「知っていますか?図書館の雑誌」
栄 咲子 …… ⑰
図書館に関する素朴な疑問コーナー …… ⑲
新着図書紹介
「現代社会を見つめて6」 石美 真也 …… ⑳
「日本の歴史4」 稲垣 宏行 …… ㉑
Book Review Corner …… ㉒
ライブラリー・カレンダー2005(7月～9月) …… ㉔

表紙に掲げられた資料の解説

ROSTAND, Edmond
Cyrano de Bergerac
Paris, 1898

『シラノ・ド・ベルジュラック』

エドモンド・ロスタン(1868-1918)はフランスのマルセイユ生まれの劇作家である。始めは法律を学んでいたが、詩集《手すさび Les Musardises, 1890》を発表し、文学の創作を始めた。間もなく劇作に転じ、韻文劇《ロマネスク Les Romanesques, 1896》、《遠き姫君 La Princesse Lointaine, 1895》、《サマリヤの女 La Samaritaine, 1897》などを書き、19世紀末の写実的な舞台上に新風を送り、評判をとった。しかし、最も高い名声を得たのは、この『シラノ・ド・ベルジュラック』であり、サン・マルタン座で約1年半上演され、空前の大成功を納めた。

劇の主人公シラノは17世紀に実在した自由思想家で、先駆的な哲学者の一人であるが、思想的な著作以外に風刺文や恋愛文がある。劇中ではシラノは剣客として英雄化される一方、恋愛の大家でありながら、その大鼻を恥じ、直接異性に愛を伝えられないという気の弱さを与えられている。シラノは自分の思いを隠し、同じ女性を愛した友人の恋愛や口説の代役を務めるのである。

その後のロスタンの作品には、ナポレオン2世を題材にした《鷺の子 L'Aiglon, 1900》や鶏を始め様々な動物を登場させた寓喩劇《シャントクレール Chantecler, 1910》など、新しい分野の開拓を試みた作品があるが、『シラノ・ド・ベルジュラック』の名声には及ばなかった。なお、本書は1898年にパリで出版された初版本である。

原寸 20.1×12.7cm



『洋書百選』(1972年本学図書館刊行)より抜粋し、加筆